

# 園芸市場情報

平成26年4月号

[www.pref.chiba.lg.jp/seisan/engei/](http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/engei/)

発行：千葉県農林水産部生産販売振興課  
首都圏マーケティングセンター  
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1  
大田市場事務棟4F  
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

## 4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

やっちゃば閑話 「困難を乗り越えるために見直しを」 P12

首都圏掲示板 P13

## <今月の5枚> \*\*みかんに醤油って！有り or 有り得ない？\*\*

東京都中央卸売市場大田市場の試食宣伝で、「日向夏ちゃん」なる不思議なみかんで初めて食べました。

な！な！なんと白皮を付けたまま食べます。白皮のふかふかとした食感とさわやかな甘み、ジューシーでさっぱりとした酸味の果肉が絶妙の取合せで、我を忘れいくつも頬張ってしまいました。

ところが、もっと驚いたことに、醤油を付けて食べるとまた一味違うと勧められました。確かに一味違いますが、超微妙とだけ感想を述べておきます。

仲卸などの買参人は興味津々で試食しており、中には早速担当セリ人に売価を尋ねる人もいて、首都圏での新しい味覚の紹介としては大成功の様子でした。



## CONTENTS (目次)

## I 青果情報

- 01 3月（中旬まで）の経過  
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格  
 04 4月の見通し  
 05 品目別生産出荷概況  
 05 特集「春キャベツ」  
 06 だいこん、にんじん  
 07 ねぎ、ほうれんそう  
 08 きゅうり、トマト

## II 花き情報

- 09 3月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）  
 10 4月の見通し（ユリ、カーネーション、ガーベラ）

## III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 11 2月の青果物と花き

## IV やっちゃんば閑話

- 12 「困難を乗り越えるために見直しを」

## V 首都圏掲示板

- 13 「『ホワイトデーはカラーを贈る日』首都圏でPR」  
 「すっぱい果実と一緒に！ミラクルフルーツのセット販売」  
 「読者の皆さまへのお知らせ」

## 用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

## I 青果情報

### 1 3月（中旬）までの経過

#### 野菜類

気 象	<p>3月上中旬の気象データでは、平均気温は全国的に平年を下回ったが、関東は平年並の所が多かった。</p> <p>日照時間は東北・北陸地方で平年を下回ったが、関東・東海及び近畿以西では平年を上回った。</p> <p>降水量は関東・北海道・九州は平年を下回ったが、東北及び本州日本海側で平年を上回った。</p>
入荷量	<p>東京都中央卸売市場の入荷野菜は、関東産、西南暖地産が中心となった。</p> <p>入荷量は、作柄良好な「だいこん」等、前年を上回る品目がある一方で、降雪で被害を受けた「ほうれんそう」「きゅうり」や、不作で貯蔵量が少ない「さといも」、前年に入荷が集中した「ごぼう」等は前年を下回った。</p> <p>結果、入荷量は3月上中旬で86,862t（前年比101.0%）と前年並となった。</p>
相 場	<p>価格は、潤沢に入荷した「だいこん」は前年よりもかなり安値となったが、前年が安かった「きゅうり」「ごぼう」「かんしょ」や、2月の降雪以降高値基調となっている「ねぎ」「ほうれんそう」等、多くの品目で前年を上回った。</p> <p>結果として、価格は3月上中旬計で235円/kg（前年比110.4%）と前年よりかなり高値となった。</p>

#### 果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に上回った。</p> <p>入荷量は前年に比べ、作柄良好の「かんきつ類」は大幅に、九州産が潤沢に入荷した「いちご類」はかなり多くなった。</p> <p>不作で貯蔵量が少ない「りんご類」は大幅に少なかった。</p> <p>結果として、入荷量は3月上中旬計で、24,166t（前年比110.8%）と前年よりかなり多くなった。</p>
相 場	<p>入荷量が増加した「かんきつ類」は前年よりかなり安値となった一方、供給不足が明らかな「りんご類」は大幅な高値となった。</p> <p>結果として、3月上中旬計で386円/kg（前年比100.7%）と前年並だった。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成26年2月下旬～3月上中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中計			
		開市日数		本年6日・前年6日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年15日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	36,467	100.9	239	106.2	42,648	99.1	238	107.4	44,214	103.0	233	113.8	86,862	101.0	235	110.4
だいこん	全国	3,986	119.2	76	79.1	4,364	106.3	76	83.1	4,900	124.8	65	87.8	9,264	115.4	70	84.7
	千葉	1,233	147.5	77	77.4	1,444	137.0	81	83.7	1,434	125.2	76	91.1	2,878	130.9	79	87.4
にんじん	全国	1,981	106.9	164	120.2	2,257	100.0	151	101.1	2,536	117.0	145	94.8	4,793	108.4	148	97.8
	千葉	1,324	102.9	171	124.6	1,444	100.3	158	104.4	1,218	110.2	143	99.4	2,662	104.6	151	102.1
はくさい	全国	3,893	99.1	61	81.5	3,808	111.9	67	97.8	2,950	111.7	68	120.5	6,758	111.8	67	106.7
キャベツ類	全国	4,016	93.3	114	99.6	5,489	102.4	103	104.5	5,847	109.4	89	98.7	11,336	105.9	96	101.5
	千葉	742	119.7	110	96.5	1,201	112.2	103	107.1	879	87.6	96	116.0	2,081	100.3	100	111.5
ほうれんそう	全国	379	77.8	519	130.7	532	89.1	418	122.0	544	99.3	413	157.1	1,076	94.0	415	136.5
	千葉	89	70.2	394	152.1	104	84.3	325	127.2	93	88.5	303	146.3	197	86.2	315	134.9
ねぎ	全国	1,164	85.0	340	130.4	1,398	94.8	357	139.0	1,488	106.2	304	142.5	2,885	100.4	330	139.9
	千葉	616	107.1	354	130.1	625	90.0	373	138.6	676	96.2	320	142.5	1,301	93.1	345	140.0
レタス類	全国	2,245	115.1	220	89.6	2,763	94.8	188	101.6	2,734	94.5	181	126.5	5,497	94.6	184	112.4
	千葉	162	134.9	223	94.7	188	141.9	176	97.8	146	130.4	164	119.2	334	136.6	171	106.3
きゅうり	全国	1,375	87.8	411	123.8	1,658	87.0	349	126.5	1,973	87.7	331	147.4	3,631	87.4	339	136.7
	千葉	303	96.2	377	124.6	326	89.8	324	133.0	367	91.5	312	159.8	692	90.7	318	145.5
なす	全国	402	95.6	481	109.1	560	102.0	431	106.5	704	102.5	392	111.6	1,263	102.3	410	109.1
	千葉	2	114.3	517	102.1	3	68.2	540	111.2	6	93.3	487	114.7	9	84.1	503	112.5
トマト	全国	1,427	95.4	434	94.9	1,909	109.9	414	87.9	2,179	102.8	377	91.8	4,089	106.0	395	90.1
	千葉	56	85.3	427	94.2	86	96.6	405	89.3	103	91.2	361	91.6	189	93.6	381	90.7
ピーマン	全国	379	95.8	681	114.2	472	95.9	621	98.6	635	114.1	564	102.8	1,107	105.6	588	100.3
	千葉	1	1913.3	1,150	99.6	1	1900.0	1,193	103.3	1	1189.3	1,142	98.9	1	1467.4	1,168	101.1
さといも	全国	156	65.9	333	161.5	170	73.3	350	165.7	182	86.2	339	174.9	352	79.4	344	169.7
	千葉	55	71.8	368	201.7	62	90.9	392	204.3	61	87.2	371	210.9	123	89.0	381	207.6
ばれいしょ類	全国	2,655	107.9	118	131.5	2,854	99.5	120	128.6	2,849	108.0	123	129.3	5,703	103.6	121	129.0
たまねぎ	全国	3,148	107.0	144	140.3	3,358	87.9	144	142.4	3,396	89.6	147	152.0	6,754	88.7	145	147.1
生しいたけ	全国	165	88.4	1,020	112.0	186	89.8	1,008	113.4	200	103.6	974	119.7	386	96.5	991	116.2
かぼちゃ	全国	881	120.8	125	78.2	842	89.6	157	107.4	849	91.6	172	128.4	1,692	90.6	165	117.5
さやえんどう	全国	61	109.5	885	106.7	80	115.3	875	101.0	83	105.6	844	110.3	164	110.2	859	105.8
かんしょ	全国	917	102.5	180	116.6	1,025	108.1	188	117.5	1,080	113.8	194	123.4	2,105	110.9	191	120.5
	千葉	449	98.2	165	119.2	497	104.0	178	120.9	550	109.3	187	130.8	1,048	106.7	183	126.0
かぶ	全国	398	91.8	151	123.1	475	90.6	142	116.6	480	93.0	143	124.8	956	91.8	142	120.6
	千葉	355	92.2	151	121.5	430	92.0	142	114.2	424	94.2	145	123.7	854	93.1	143	118.8
ごぼう	全国	198	69.6	399	165.4	216	69.5	401	163.6	206	66.6	404	179.0	422	68.1	402	171.0
	千葉	0	61.1	537	136.9	1	40.9	441	145.6	1	21.1	477	284.8	1	28.8	457	207.6
こまつ菜	全国	268	98.2	355	125.6	347	104.7	294	107.2	362	109.8	284	146.1	709	107.2	289	123.2
	千葉	18	86.4	349	127.7	21	95.4	307	115.3	24	123.8	255	143.4	45	108.4	280	123.9
こねぎ	全国	113	91.5	787	105.3	146	101.5	744	108.7	158	99.9	678	113.2	304	100.7	710	111.0
わけぎ	全国	5	85.9	818	126.2	8	110.9	679	95.0	9	121.8	682	111.2	17	116.3	681	102.3
糸みつば	全国	49	95.1	457	144.4	67	91.4	503	119.6	70	107.7	308	116.9	137	99.1	403	116.3
しゅんぎく	全国	82	100.3	595	126.6	100	104.2	465	115.4	80	111.6	494	173.7	180	107.4	478	135.7
	千葉	32	110.7	596	124.6	38	112.5	471	115.9	25	111.3	523	183.7	63	112.0	492	137.4
にら	全国	242	89.2	672	168.9	294	97.4	560	129.7	298	92.2	475	130.5	592	94.7	517	130.4
セルリー	全国	302	119.1	216	94.4	359	113.4	260	97.4	362	103.8	238	92.1	721	108.4	249	94.9

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中計			
		開市日数 本年6日・前年6日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年8日・前年7日		開市日数 本年15日・前年14日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	全国	102	107.1	212	113.5	129	106.3	184	91.2	85	63.0	263	154.1	213	83.5	216	116.2
ブロッコリー	全国	729	97.9	313	105.5	1,107	96.1	235	96.5	881	68.8	295	155.1	1,988	81.7	262	121.4
サラダ菜	全国	28	104.1	431	98.8	39	122.7	357	86.4	40	102.8	312	105.1	79	111.8	335	95.7
	千葉	9	80.4	431	114.6	14	110.3	349	93.0	15	94.4	294	111.6	29	101.5	321	102.3
パセリ	全国	19	86.3	805	108.8	24	92.5	735	109.2	27	100.0	650	116.5	52	96.3	690	112.3
	千葉	10	113.5	704	94.3	12	129.6	663	97.6	11	118.2	647	111.7	24	123.9	655	104.2
チンゲンサイ	全国	115	87.8	328	133.9	151	98.5	288	106.2	148	94.6	273	129.9	299	96.5	281	116.7
エンダイブ	全国	5	89.7	560	96.4	7	102.6	454	83.3	7	92.7	456	109.9	13	97.5	455	95.2
ミニトマト	全国	374	110.1	768	101.8	516	115.1	650	88.7	521	103.5	617	94.9	1,037	109.0	633	92.0
	千葉	33	108.6	810	103.7	40	103.5	729	92.5	44	96.2	682	94.7	84	99.6	705	93.8
とうもろこし	全国	2	79.6	284	74.5	4	77.6	240	63.7	2	77.1	407	91.0	6	77.4	299	74.4
いんげん	全国	78	99.3	802	100.0	101	113.4	809	97.4	101	100.4	831	99.5	202	106.5	820	98.4
そらまめ	全国	51	82.3	629	110.0	118	104.6	548	97.5	182	94.5	466	101.5	300	98.2	498	100.2
えだまめ	全国	0	8.6	2,358	563.5	1	25.3	2,054	138.6	1	6.7	1,924	405.8	2	9.1	1,971	326.0
やまといも	全国	40	81.2	566	113.5	47	95.6	578	116.5	52	94.5	601	121.4	99	95.0	590	119.1
	千葉	27	85.8	543	109.4	30	100.8	558	112.7	31	89.8	582	118.7	61	95.0	570	115.7
根しょうが	全国	104	102.8	555	141.9	109	73.8	577	155.1	120	83.7	592	147.0	230	78.7	585	151.1
マッシュルーム	全国	29	107.7	875	104.2	35	111.1	849	104.2	38	128.3	867	102.0	73	119.4	858	103.2
外国産	—	1,860	121.0	202	90.3	1,978	105.6	225	103.8	2,083	116.0	220	107.4	4,061	110.7	222	105.5
果実総量	—	11,068	99.0	377	102.3	11,796	108.4	388	100.8	12,370	113.2	385	100.7	24,166	110.8	386	100.7
みかん類	全国	3,024	100.5	253	111.2	1,787	104.8	262	115.1	1,198	107.1	293	127.8	2,985	105.7	274	120.3
かんきつ類	全国	3,608	111.5	243	91.4	4,524	124.9	245	93.3	5,147	135.9	237	93.0	9,672	130.5	241	93.1
りんご類	全国	1,785	88.1	292	123.0	1,925	85.1	295	125.1	2,234	95.9	294	122.9	4,159	90.6	294	124.0
(ふじ)	全国	1,500	92.0	295	122.6	1,544	85.3	298	124.9	1,849	101.5	294	120.4	3,393	93.4	296	122.5
いちご類	全国	1,372	100.4	1,153	97.6	1,839	113.8	1,027	92.6	1,939	102.7	993	104.0	3,778	107.8	1,010	98.4
メロン類	全国	91	85.4	1,114	97.5	151	101.8	892	90.7	170	120.3	824	74.9	321	110.8	856	82.3
	千葉	4	122.7	1,365	88.6	4	109.0	1,159	77.5	6	110.0	1,043	70.5	10	109.6	1,093	73.5
(アールスメロン)	全国	50	83.3	1,545	93.9	74	108.9	1,296	82.0	85	109.5	1,168	75.9	159	109.2	1,227	78.8
	千葉	4	122.7	1,365	88.6	4	122.4	1,159	77.2	6	110.0	1,043	70.5	10	115.0	1,093	73.4
外国産	—	1,084	82.1	200	120.2	1,458	91.6	193	112.4	1,632	101.6	200	111.4	3,090	96.6	197	112.0

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。  
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上  
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

## 2 4月の見通し

### 野菜類

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となります。

入荷量は、「だいこん」など多かった前年を下回り平年に近づく品目が多いですが、「ほうれんそう」「きゅうり」は降雪による施設倒壊で平年を大幅に下回る見込みです。

価格は、前年に安値だった「はくさい」や高値基調の「ねぎ」が前年をかなり上回り、高値であった「ほうれんそう」は前年よりかなり安いものの平年を上回る見込みで、全体では軟調だった前年を上回る見込みです。

### 果実類

「かんきつ類」「いちご類」「すいか類」が中心に出回ります。

入荷量は、「かんきつ類」は豊作だったもののヤケ果による減少で前年並となり、「すいか類」は多かった前年をやや下回る見込みで、全体では前年をやや下回る見込みです。

価格は、「かんきつ類」は前年をやや上回り、「いちご類」は高かった前年を下回る見込みで、全体では前年をやや上回る見込みです。

( )は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	10,750	12,197	88.1	11,068	80	74	108.1	100	9,433	77.3
にんじん	8,050	8,188	98.3	7,561	145	159	91.2	166	299	3.7
はくさい	6,500	6,921	93.9	6,271	65	53	122.6	82	135	2.0
キャベツ類	17,400	19,193	90.7	17,679	110	107	102.8	121	1,602	8.3
ほうれんそう	1,000	1,096	91.2	1,231	500	551	90.7	472	133	12.1
ねぎ	4,000	4,301	93.0	4,065	250	223	112.1	246	1,961	45.6
レタス類	7,200	7,411	97.2	7,251	200	205	97.6	207	115	1.6
きゅうり	6,500	7,384	88.0	7,217	285	262	108.8	247	985	13.3
なす	3,200	3,425	93.4	3,421	360	367	98.1	363	61	1.8
トマト	7,400	7,866	94.1	6,661	380	375	101.3	400	546	6.9
不知火	2,400	2,420	99.2	2,403	340	333	102.2	349	0	0.0
いちご類	4,400	4,427	99.4	5,000	840	893	94.1	774	59	1.3
すいか類	1,900	1,958	97.0	1,782	290	285	101.8	287	1	0.0
メロン類	1,050	1,099	95.5	1,152	680	629	108.1	631	16	0.4

前年比10%以上

前年比10%以下

### 3 品目別生産出荷概況

#### 春キャベツ

主要産地のキャベツ類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	25年4月入荷量	25年4月シェア率
愛知	7,909 t	41.2 %
神奈川	8,945 t	46.5 %
千葉	1,602 t	8.3 %
茨城	208 t	1.1 %

4月入荷予測	17,400t(前年比90.7%、平年比98.4%)
4月価格予測	110円(前年比102.8%、平年比90.9%)
4月市況予測	上旬：⇨(強保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(保合)

#### 今後の競合産地の動向は?

4月から6月に入荷するキャベツは春キャベツに区分され、主な産地は愛知、神奈川、千葉、茨城です。

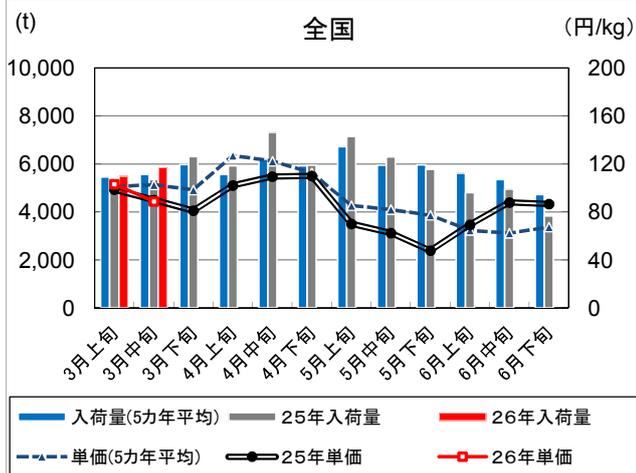
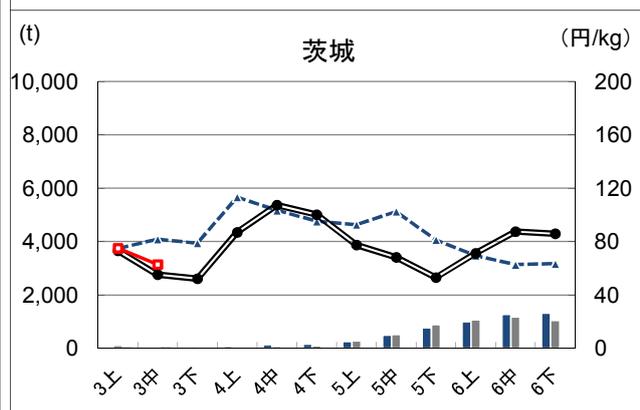
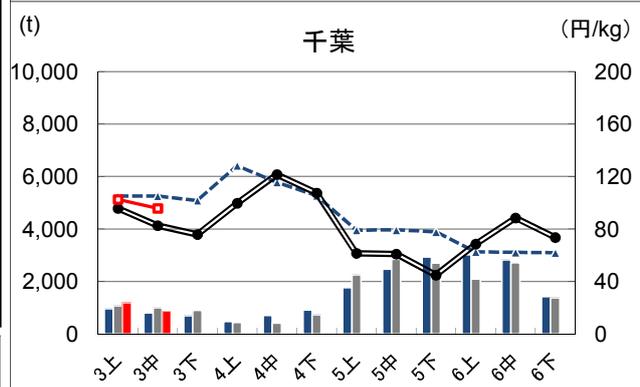
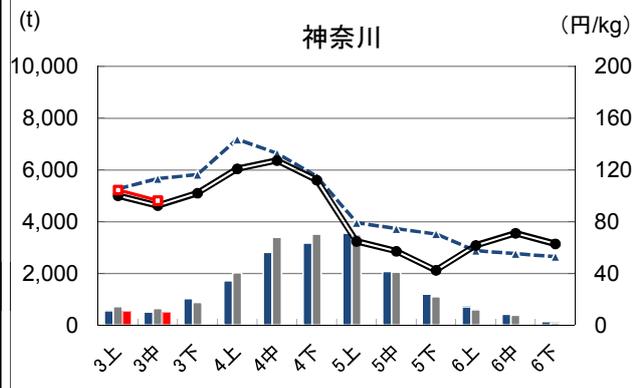
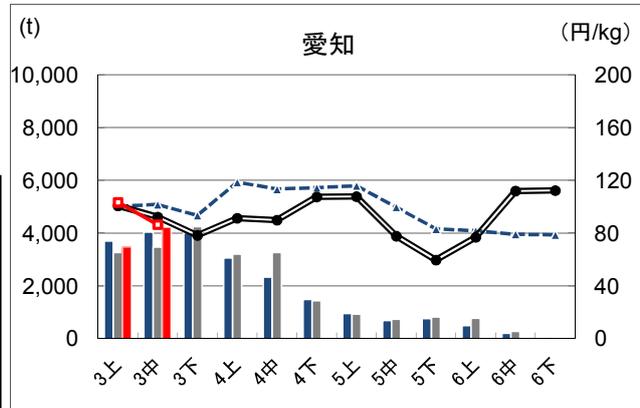
冬キャベツの主産地である愛知は、4月にも冬系品種を出荷し、4割のシェアがありますが、中旬以降減少し、主産地は神奈川に移ります。その後、千葉の出荷が5月から本格化し、5月下旬から6月上旬にピークを迎え、茨城は6月にピークとなります。

本年は各産地とも冬の寒さにより遅れていたものの、3月に気温が上昇したことで回復し、4月は順調な出荷が予想されます。

愛知は4月下旬以降急減し、5月中旬からは夏系品種が出てくる予定で、作柄は平年並の見込みです。

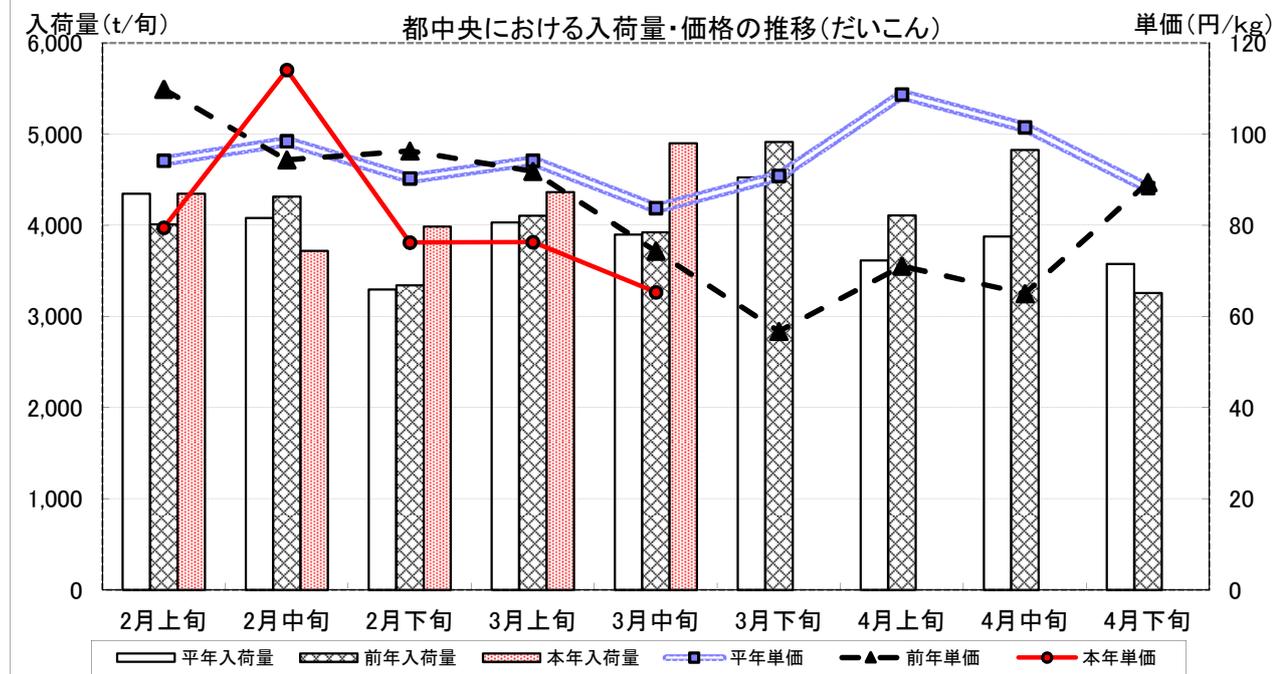
神奈川は4月中旬からピークに入り、豊作だった前年よりは少ないものの平年並の出荷となる見込みです。

千葉は2月の突風等が生育に影響し、少なかった前年並の出荷を見込んでいます。



## だいこん

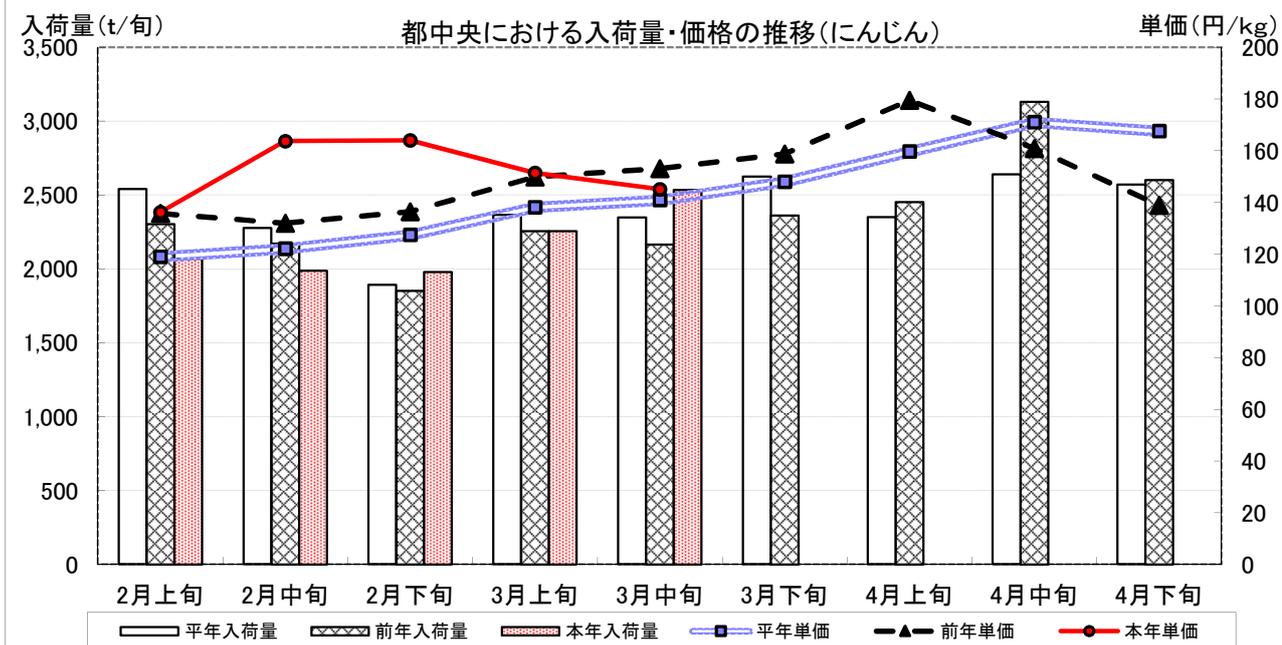
入荷予測	10,750t(前年比88.1%、平年比97.1%)
価格予測	80円(前年比108.1%、平年比80.0%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	千葉県;一部ほ場では、2月の突風や積雪で被覆が破損し、生育に遅れが出たほか、低温で枯死したものがあ。4月の出荷量は多かった前年をかなり下回り、平年よりやや少ない見込み。
	神奈川県;生育は順調。4月上旬で出荷終了となり、出荷量は前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

## にんじん

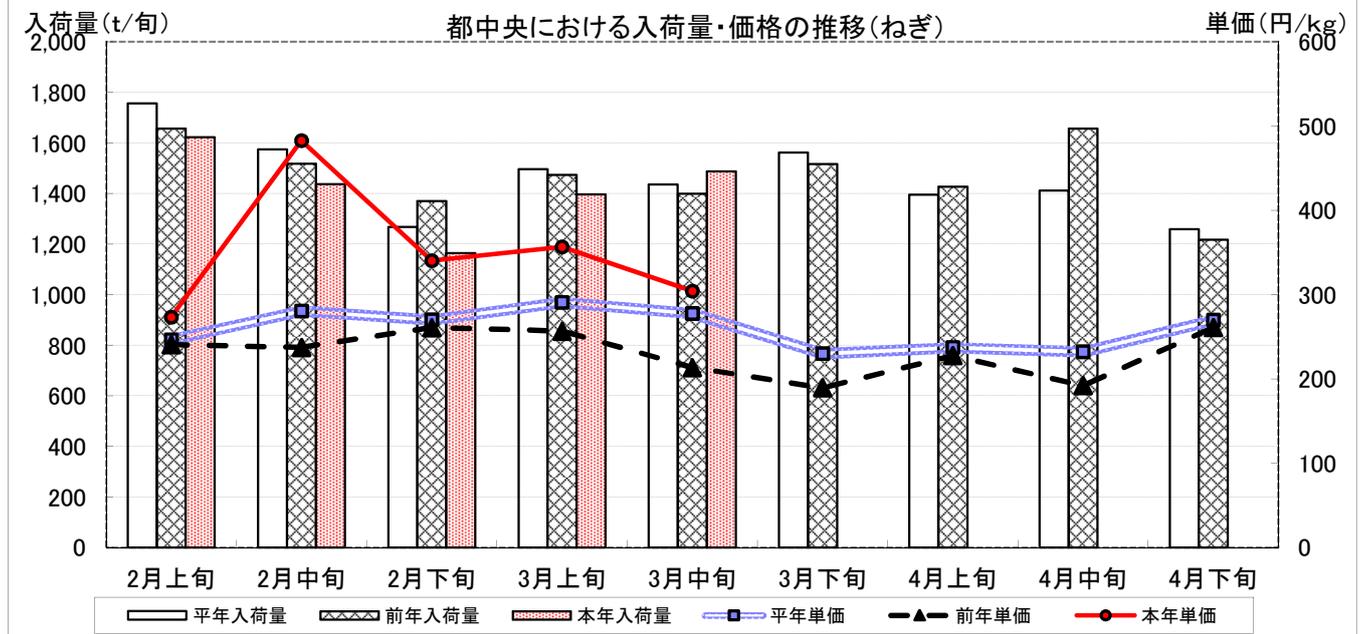
入荷予測	8,050t(前年比98.3%、平年比106.5%)
価格予測	145円(前年比91.2%、平年比87.3%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(保合)
主産地の概況	徳島県;生育は順調。4月10日頃にピークとなり、4月いっぱい出荷が続く。4月の出荷量は多かった前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

## ねぎ

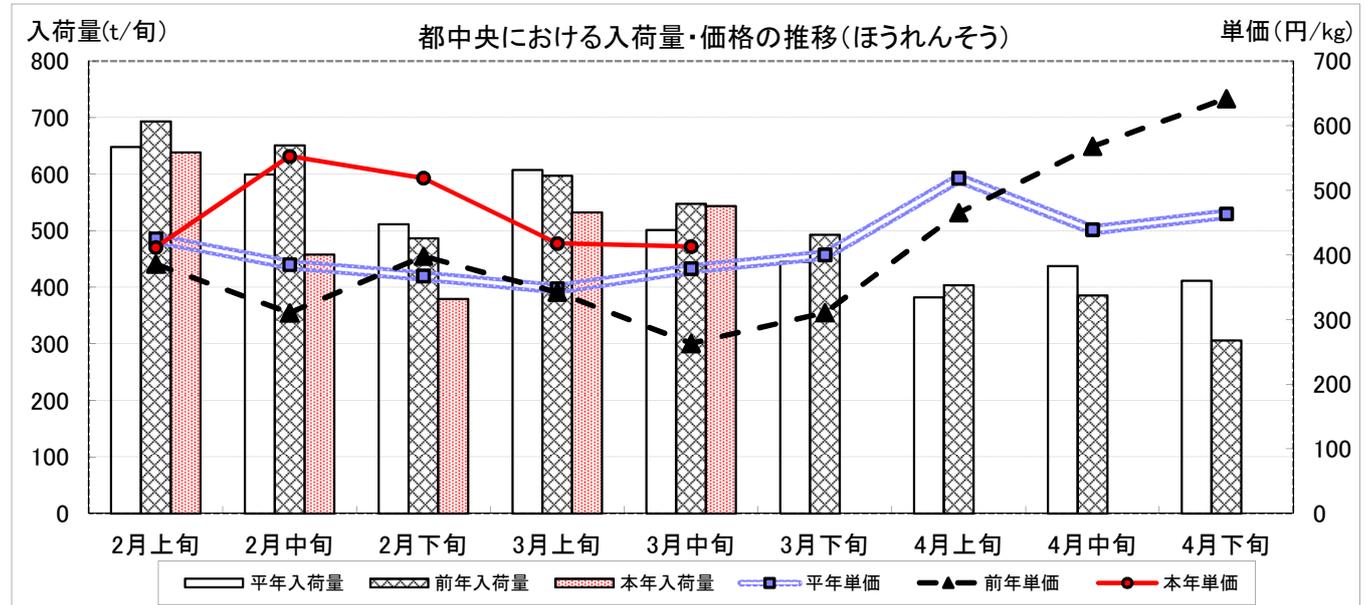
入荷予測	4,000t(前年比93.0%、平年比98.4%)
価格予測	250円(前年比112.1%、平年比101.6%)
市況予測	上旬：⇨(弱保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	千葉県;降雪の影響は少なく、生育は概ね順調。4月の出荷量は前年並の見込み。
	埼玉県;2月の降雪で葉折れ等が発生し、下位等級品の比率が多い。4月の出荷量は前年・平年を下回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

## ほうれんそう

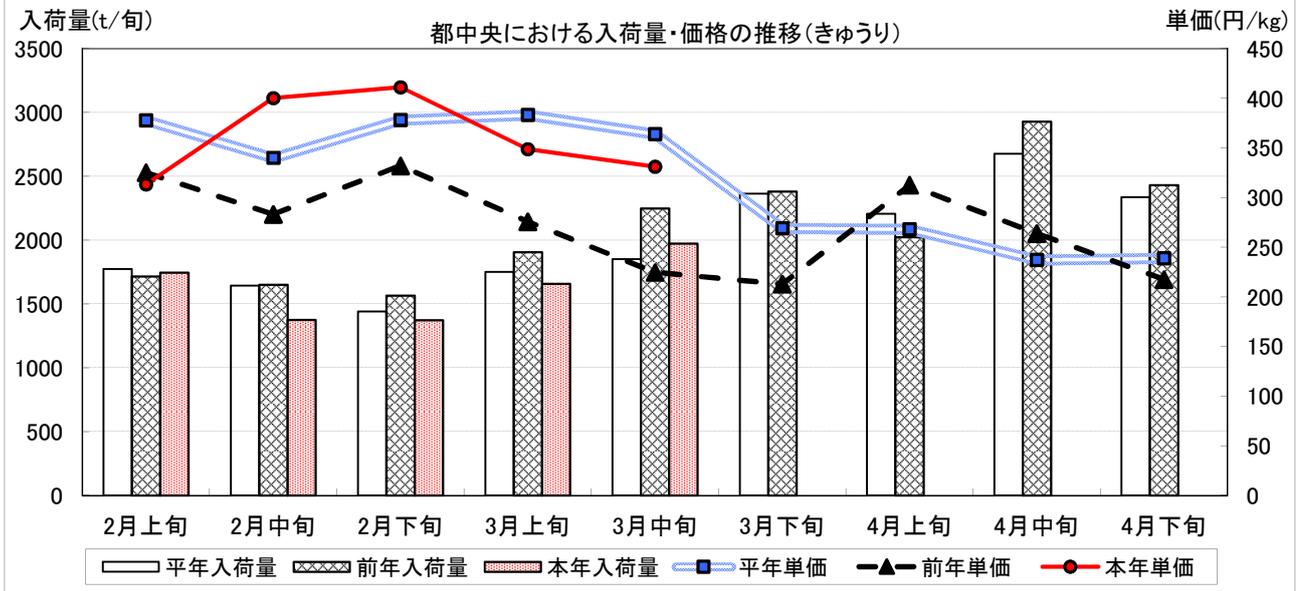
入荷予測	1,000t(前年比91.2%、平年比81.2%)
価格予測	500円(前年比90.7%、平年比105.9%)
市況予測	上旬：⇨(強保合) 中旬：⇨(弱保合) 下旬：⇨(保合)
主産地の概況	群馬県;降雪により多数の施設が倒壊しており、出荷が始まる露地ものも雪に覆われていたことで品質が低下している。4月の出荷量は前年を大幅に下回る見込み。
	茨城県;生育は順調。4月の出荷量は、多かった前年並の見込み。
	埼玉県;降雪により播種が遅れ、その後の生育も遅れている。4月の出荷量は、大幅に少なかった前年を上回るものの、平年より少ない見込み。
	千葉県;低温により生育は遅れ気味。品質は良好。4月の出荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

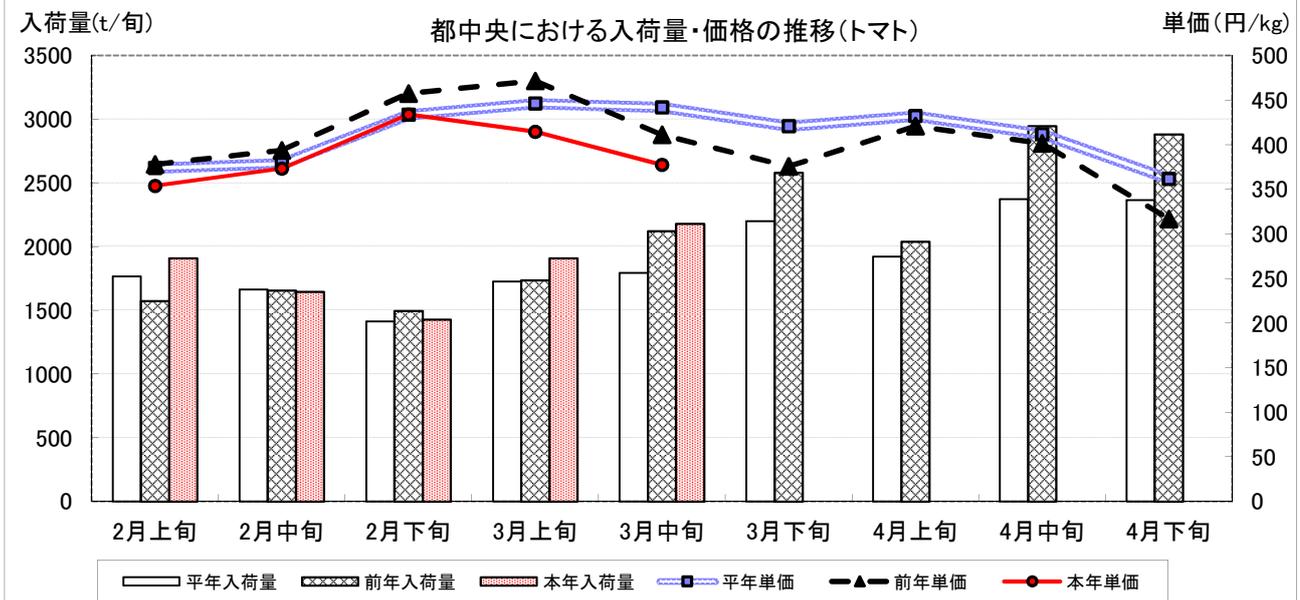
## きゅうり

入荷予測	6,500t(前年比88.0%、平年比90.1%)
価格予測	285円(前年比108.8%、平年比115.4%)
市況予測	上旬：⇨(強保合) 中旬：⇨(強保合) 下旬：⇨(弱保合)
主産地の概況	埼玉県：降雪により主力産地で多数の施設が倒壊した。4月の出荷量は前年を大幅に下回る見込み。
	群馬県：降雪による施設の倒壊や、雪解け水による生育不良が発生した。4月の出荷量は前年を大幅に下回る見込み。
	千葉県：生育は順調。日照時間が増加し、品質が良くなっている。4月の出荷量は前年並の見込み。



## トマト

入荷予測	7,400t(前年比94.1%、平年比111.1%)
価格予測	380円(前年比101.3%、平年比95.0%)
市況予測	上旬：⇨(保合) 中旬：⇨(保合) 下旬：⇨(保合)
主産地の概況	栃木県：生育は、低温・降雪の影響で遅れ気味。4月収穫分については玉伸びが順調で、品質も良好。出荷量は多かった前年並みで平年を大幅に上回る見込み。
	熊本県：生育は順調。4月の出荷量は多かった前年並みで、平年を大幅に上回る見込み。
	愛知県：低温により生育がずれ込んでいる。4月の出荷量は前年並の見込み。
	埼玉県：降雪で施設が倒壊しており、4月の出荷量は前年及び平年を大幅に下回る見込み。
	群馬県：降雪で施設が倒壊しており、4月の出荷量は前年及び平年を大幅に下回る見込み。



## II 花き情報

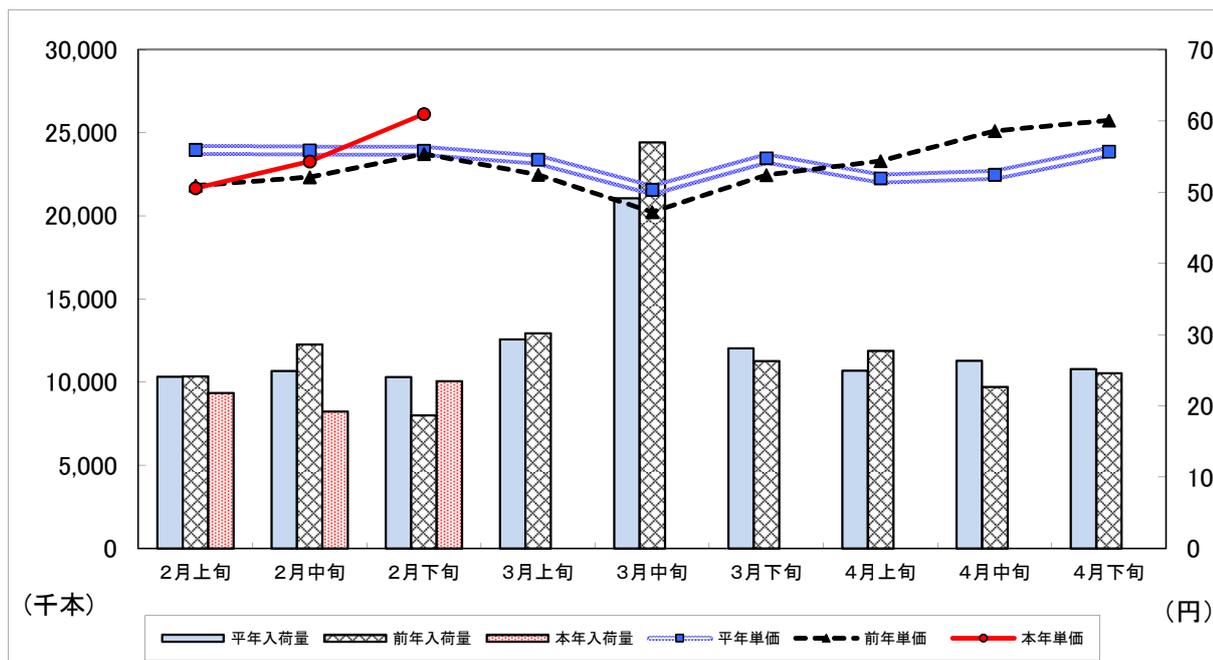
### 1 3月の経過（切花）

低温や2月の雪害の影響で入荷量が少ない中、彼岸や年度末の送別に向けた需要の高まりから堅調な取引となった。

#### （1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	<p>上旬は平年並みであった。 中旬は彼岸需要に向けて増加したが、低温の影響や2月の降雪で被害を受けた産地からの出荷の減少により、平年を大きく下回る入荷量となった。</p>
相場	<p>入荷量が少ないことから相場は堅調に推移した。 特に彼岸や年度末の送別に向けた需要が高まる中旬には、平年を大きく上回る単価となった。</p>
品目等	<p>送別需要の高まりからバラや洋ランなどをはじめ、洋花類全体で堅調な取引となった。 特に低温や雪害の影響を受けて入荷量が大きく減少したユリ類は単価が高騰した。また、菊類、ストックなどの仏花も彼岸需要の高まりから強含んだ。</p>

#### （2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



### (3) 品目別経過

品目	経 過	
ユリ	大田花き	オリエンタルは高知産のカサブランカが中心だが数量少なく、高値での販売状況となった。L A・アジアティックは埼玉、群馬の周年産地において降雪によるハウス倒壊の被害があり、入荷量は前年比50～70%の品薄となった。販売面では彼岸需要から花束加工業者を中心に引き合いが強まり、高値となった。
	東日本板橋	低温や雪害の影響により入荷量は昨年と比べ減少した。
	フラワーポート	入荷量が少なく、堅調な販売となった。
カーネーション	大田花き	燃油高による暖房の手控えや低温の影響で品薄が続く一方で、彼岸需要・送別需要からの引き合いは強く、堅調な取引となった。
	F A J	彼岸やブライダルに向けた引き合いが強く、活発な取引となった。
	フラワーポート	入荷量が少ないなかで物日の需要もあり、単価は平年より高めで推移した。
トルコギキョウ	大田花き	低温の影響で入荷量が増えない中で、彼岸、ブライダル、送別需要からの引き合いが強まり、堅調な販売が続いた。
	F A J	静岡・熊本・栃木・高知産が中心。業務向けの引き合いが強く、高値取引が続いた。
	フラワーポート	入荷量が少なく、相場は前年より高めで推移した。
ストック	F A J	千葉産中心の入荷。彼岸向けの引き合いが強く堅調な取引が続いた。
	フラワーポート	降雪の影響もあり露地物の出荷量が少なく、高値安定での取引となった。

## 2 4月の見通し

品目	見通し	
ユリ	F A J	オリエンタルは低温で遅れていた分の出荷があり、入荷量は増加する。L A・アジアティックは、主産地における雪害の影響が引き続き残る見込みで、入荷量が大きく回復する見込みは少ない。
	フラワーポート	低温により出荷遅れていた分の入荷もあるが、雪害や作付面積減少の影響により、入荷量が少ない。
カーネーション	大田花き	国内産は低温や燃油高の影響から、S T・S Pともに生育が遅れていたが、気温の上昇に伴い、数量増加へと転じる見通し。外国産に関しては昨年並の入荷に留まる見通し。
	F A J	気温の上昇と共に徐々に入荷量は増えていく。相場は保合を予想。
	フラワーポート	出荷が遅れていた分があるため月前半はある程度入荷があるが、月全体の入荷量は平年より少ない見込み。
ガーベラ	大田花き	安定した入荷となるが増税後の月になるため、婚礼等の業務需要からの引き合いは減少する。
	F A J	静岡・愛知・千葉からの入荷が中心。入荷量は増加するが引き合いは弱まる。
	フラワーポート	入荷量が増加する一方で需要は減少するため、中旬以降は厳しい販売となる。

平成26年3月号まで掲載していた、県産花き主要品目についての翌月の出荷見通しデータが必要な方は、首都圏マーケティングセンター(電話03-5492-5416 担当:伊藤)まで御連絡ください。

### Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

#### 1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	2月				累計 (H25.4月～H26.2月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	22,442	189	95	109	276,086	179
だいこん	2,754	88	110	89	34,242	84
にんじん	1,163	151	95	119	16,662	138
はくさい	2,339	70	104	102	23,168	67
キャベツ	4,033	106	106	109	49,767	89
ねぎ	909	312	88	151	10,966	255
トマト	685	422	100	95	13,941	344
きゅうり	737	367	87	120	10,884	298
ばれいしょ	1,683	103	107	111	16,375	108
たまねぎ	1,583	146	73	162	20,354	103
レタス	923	208	93	84	13,554	186
果実	5,871	312	96	103	74,074	281
みかん	1,900	202	102	103	17,117	201
かき類	33	333	64	109	3,825	261
グレープフルーツ	88	196	57	121	2,375	151
なし類	7	244	73	84	6,637	255
ぶどう類	11	423	116	107	2,152	642
いちご類	669	1,000	105	94	2,637	1,062
すいか類	1	441	30	123	6,795	183
メロン類	46	390	75	111	3,660	350
バナナ	380	164	69	115	6,467	147
りんご	759	279	89	119	7,445	257
その他	280	178	106	100	3,054	175
青果物合計	28,593	214	95	108	353,214	200

#### 2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	2月				累計 (H25.4月～H26.2月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,177	47	90	100	30,907	53
きく	702	51	189	92	10,885	57
バラ	77	73	141	110	1,281	60
カーネーション	180	43	157	102	3,665	45
枝物	85	97	98	100	1,168	88
鉢物	70	119	76	110	1,381	125
その他	2	94	100	103	47	140
花き合計	2,334	51	89	100	33,503	57

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

# やっらゃば閑話

## － 困難を乗り越えるために見直しと －

市場に赴任して約1年が経とうとしています。年間を通して、日本各地の青果物産地がそれぞれ総力を挙げて販促を行っているのを見て、千葉県産地は本当にたくさんの県と戦っているのだな、と改めて思い知らされました。

青果物の販売では、少子化などによる消費そのものの減少や、海外から入ってくる安い輸入物の増加、生産では、極端な夏の暑さ冬の寒さに加え、台風、ゲリラ豪雨や大雪に見舞われるなど、困難な状況が続いています。そのような状況でなんとか活路を見出そうと、新たな販路を模索するなどし、各産地しのぎを削っています。

新たな販路を模索する中で、打開策としてよく挙がるものに、加工向け販売があります。自分たちの青果物がなかなか値段がとれず苦しい中、今の販売に加えて、新たに規格外品を加工向けに販売すれば良いのではないかと。そういった考えから、何となく取り組んでしまうという話をよく聞きます。

私が普及員のころ担当していたどの産地でも、必ず1回は「加工向け販売にも取り組もう」という話がありました。しかし、それで取り組んでみると、なかなか結果が出ない。そうこうしているうちに加工向け販売の話はだんだん勢いが無くなってしまっていて立ち消えになるか、続いても細々というパターンばかりでした。

今こうやって市場で青果物の流通の現場を見て思うのは、加工向け販売は今の青果物販売を補助するためのものではなく、他の産地と競いながら売っている今の青果物販売と同じであるということ。加工向けの分野でも、色々な産地が売り先を確保しようと競争しています。

先日、卸売会社のセリ人さんにお話を聞いてみたところ、加工向けの分野で、競争を勝ち抜いている産地は、今の青果物販売の規格外のものを出荷しているわけではなく、加工向けに専門で取り組んでいるところばかりだそうです。

市場にいて、産地の方と話す機会がありますが、今でも現行の青果物販売の補助の一つとして加工向け販売に何となく取り組もう、あるいは取り組んでいるという話はちらほら聞こえてきます。

その取組が本当に必要なのか、必要ならばどうやって他の産地と戦っていくのか、青果物販売が苦しい今だからこそ、見直してみる必要があるのではないのでしょうか。

(へたれボルダラー)

# 首都圏掲示板



## 「ホワイトデーはカラーを贈る日」首都圏でPR

純白の花・カラーの利用拡大を図るため、「ホワイトデーはカラーを贈る日」をキャッチフレーズに、3月3日～7日に主要生産県である千葉・愛知・熊本の生産者・関係団体が市場や小売店頭で販売促進活動を展開しました。

写真左下：東京都中央卸売市場板橋市場での3県合同での展示PRの様子です。5日には代表者によるセリ前挨拶も行いました。このほかに大田市場・世田谷市場でもPR活動を実施しています。

写真右下：JAきみつによる小売店（リベルテ大手町店）での店頭PRです。

きれいに並べられたカラーを前に、産地の生産者がその魅力や想いを訪れたお客さんに伝えていました。



## すっぱい果実と一緒に！ミラクルフルーツのセット販売

酸味のある食べ物を甘く感じさせる機能を持つミラクルフルーツ。その楽しみ方をわかりやすく伝える果実セットが東京都中央卸売市場大田市場の仲卸の店頭で並んでいました。

ハート形のパックの中に、レモン、キウイフルーツ、食べ方の説明書が入っており、POPでは4コマ漫画でミラクルフルーツを紹介しています。





## 読者の皆さまへのお知らせ

昨年度は、8月に高知県で最高気温41.0℃と観測史上1位を記録したほか、10月に伊豆大島が台風26号による記録的大雨に見舞われ、さらに年明けの2月には関東甲信地方で観測史上1位の記録的な大雪が降るなど、自然に左右される産業に携わる者にとっては、大変な一年でした。

特に、関東甲信地方を襲った大雪は、農作物等に甚大な被害を及ぼし、今後その影響が長く続くものと懸念されています。

被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、4月1日から、農林水産部生産販売振興課首都圏マーケティングセンターは、県の組織改正及び定期人事異動により、下記のとおり同部流通販売課首都圏マーケティングセンターになるなど、新体制となりました。

本県産農産物の有利販売に向け、流通情報の収集・伝達、販売現場と産地との結び付け、千葉県産農産物の首都圏におけるセールスプロモーションの展開等に、引き続き取り組んで参ります。

特に、本年度は、量販店の一括仕入れなどの大口需要に対応するため、卸売会社が「千葉は一つの大きな産地」として販売できる体制づくりを目指し、布石を打ちたいと考えています。

また、御愛読いただいております本紙につきまして、より親しみやすいものとなるよう内容を一部見直しました。

皆様の御期待に添えるよう日々努力しますので、よろしく申し上げます。

### 記

平成26年度

農林水産部流通販売課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏名	連絡先
室長	角田 孝史	〒143-0001 東京都中央区東海3-2-1 大田市場事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
副主幹	伊藤 文雄	
副主査	大屋敷 亮輔	
技師	柏崎 佑二	